

クラスだよ こぼと1組 5月号

新年度が始まって、早くも1ヶ月が経ちました。クラスにも少しずつ慣れ、自分を出せるようになってきたなあと感じる子ども達の姿も見られます。また、お外遊びでは気温も暑くなってきたという事で、水遊びや泥んこ遊びも楽しんでます！お着換えが多くなったり、カー帽子を濡れて持ち帰る事もあります。お洗濯が多くなるかと思いますが、『今日もこんなに楽しんだんだなあ』と遊びの痕跡も楽しんで頂ければ幸いです。よろしくお祈りします。

(持ち物やお着換えへの記名の確認をお願いします)

今月の讚美歌・歌

- ♪やさしいめが
- ♪おさんぽ日和

クラスの取り組み

- * 荷物を丁寧に扱えるようにする
- * 外遊び後や昼食前の手洗いうがいの徹底
- * こまめな水分補給を心掛ける

ある日のお部屋あそびのお話

お部屋のおもちゃの『吸盤ブロック』というシリコンでできた吸盤のおもちゃがあるのですが、机にくっつけたり、ブロック同士を繋げたり、窓にくっつけて楽しんでいました。そんな中2人の子が窓にめがけてブロックを投げて、くっつけようとしていました。『おもちゃを投げるのはどうなのか？』と思い、2人にも「投げるのはやめてね」と伝えました。

その後、投げてくっつけるのが相当楽しかったようで、何度声を掛けても繰り返す姿が。そんな姿を見て、私も2人の気持ちに後1歩寄り添って考えてみました。★おもちゃを投げるのは良くないけど、吸盤ブロックはダーツのように投げて遊ぶ事もできる。★もしお友達に当たると、嫌な気持ちにはなるかもしれないが、シリコン素材なのでケガはしない。という私なりの答えが出ました。なので、2人には「投げるのもいい事にするね。でもお約束は守って遊んでほしい。

①床に貼った線の中から投げる事。②お友達が周りにいる時は投げない事。③窓に向かってだけ投げる事。」と伝えました。それを聞いた2人は「よっしゃー！」と本当に嬉しそうで、夢中になって遊び、遊びながらも「人来たからちょっとストップしよ！！」「線の外に出そうやったわ！」としっかり周りを見て、お約束も守ろうと意識しながら遊んでくれていました。その日から3週間近くこの遊びが流行り、他のお友達もどんどん参加して、日に日に投げ方やコツを掴み、窓にくっつけるのも上達していく子ども達でした。

子ども達の安全を守りみんなが楽しめる環境を作ることが担任の役目だと思っていますが、【大人の固定概念】や【大人の都合】を時には崩し、本当にダメなことなのか？あと一歩寄り添えないか？という事を考える大切さを学ぶ時となりました。子ども達の『やってみたい！』をこれからもできる限り受け止めていきたいなあと思います☆



ピーピー豆(カラスノエンドウ)のお話

園庭で子ども達が見つけたピーピー豆をクラスのみんなに紹介する事に。「こんなのがあったよ！」と見せていると「なにこれー！」「植えてみたい！」という声が上がりました☆ 植えたらどうなるのか…何もならないのか？何か出てくるのか？みんなで想像しながら、実際に植えて実験してみることに♪ 毎日登園してすぐに「なんか出てきたかなあ」と観察する子ども達でしたが、もったいなくも出ず。。もう無理かなあ諦めかけていましたが、植えてから2週間後、土から1本の芽が！見つけた時には「出てきてるー！」と飛び跳ねて喜ぶ子ども達♡それから毎日凄まじいスピードでぐんぐん伸びてきています



興味を持ったもので、満足するまでたっぷり触れあい、遊び尽くそう！ということで、道で見つけた大量のピーピー豆を「自由に遊んでいいよ！」と出してみました。草からサヤをひたすら採る子や、サヤから豆を取り出す子、ライトテーブルにサヤを置いて中身を透かして観察する子、草から出てきた虫に興味を持つ子など、たくさんの子が興味を持って遊んでいました。2週間ほどたっぷり遊び、サヤや豆も乾燥してカラカラに。せつかくなら捨てずに、ボンドで紙にくっつけて遊んでみよう！と次の遊びに発展しました。サヤや豆を並べてお顔を作ったり、バスを作ったり、ただ好きなようにくっつけたり* 「もうやらない」と思えるまで遊び尽くすことができました♪



ある日、5種類の豆を『お豆の仲間』と子ども達に紹介しました。実際に触ったり、中身を開けてみたり、大きさ比べを楽しんだり♪ お豆の仲間が登場する絵本『そらまめくんのベッド』を子ども達に読むと、「絵本の豆ってこれと同じ豆なんや！」と実物と見比べながら、絵本の世界と現実を一致させて読んでいました。読み終えた後、子ども達からは「こんなにフワフワなベッドいいなあ〜。」「段ボールで作ってみんなで寝ようや！」と提案が☆

次の日から早速、フワフワベッド作りをスタートしました。必要な材料を考え、色々な種類のフワフワを集めたり、段ボールカッターを使って段ボールを切ったり、ガムテープで繋げていったり。こぼと1組の『オリジナルフワフワベッド』の形が完成していきました。ある程度形が完成してからは、集まったフワフワを貼っていく工程に。フワフワに包まれながら、そらまめ君になった気持ちで寝転んだり、泡風呂気分を味わったり、フワフワを上に向けて雪のように降ってくるのを楽しんだり、遊んで壊れては修理をして毎日楽しんでいるこぼと1組です♡



ある日の小さな出来事や発見からここまで広がり、1つのものを一緒に見て、お友達や先生と感想や意見を言い合うことは、これからも大切にしていきたいなと思います。今回はピーピー豆から広がり、実験したり、調べたり、たくさんの子で遊んだり、ふわふわベッド作りになったりと、1本の真っ直ぐな道ではなく、あちに行ったりこちに行ったり、大人が想定出来ない程たくさん寄り道をして、ゆっくり時間をかけて楽しみました。活動や取り組みと同じように、日常の中でも子どもは本当によく寄り道をして、ちょっとスーパーに行くのにも、立ち止まったりしゃがんだり、なぜか戻ったりすると思います。でも、時間は想像の何倍も掛かりますが、必ず最後の最後は帰ってきてくれます。決まった道を歩むだけではなく、この寄り道やじくざぐしている時間が子ども達にとっては楽しくて、学びで、満たされる時間だと思っています。子どもを信じて、寄り道やじくざぐを大切に、これからも子ども達と楽しんでいこうと思っています☆